



In 佐賀 実績報告書

- 趣 旨** 佐賀県の小中高生のホッケー選手に対して競技力向上とホッケー競技の普及のため、ホッケーオリンピック/日本代表選手より、ホッケーの楽しさを伝えると共に世界に羽ばたく選手の育成につなげる。
また、県内の中小生に対し、ホッケーの楽しさを伝え、2024年に開催される国民スポーツ大会成功への契機とする。
- 主 催** (公社) 日本ホッケー協会
- 主 管** 佐賀県ホッケー協会、伊万里市ホッケー協会、伊万里ホッケークラブ
- 後 援** 佐賀県
- 期 日** ①令和4年7月16日(土) 9時～12時 小学生30名 + 保護者15名
② 〃 〃 13時～16時 小学5～中学1年生 25名
③令和4年7月17日(日) 9時～12時 中学2～3年生、高校生 25名
④ 〃 〃 9時～12時 未経験者3名 + 中学1年生 15名
- 場 所** SSP認定育成強化センター伊万里ホッケーフィールド
(伊万里実業高校商業キャンパスグラウンド)
佐賀県伊万里市脇田町1376番地
- 来 賓** 伊万里市長 深浦 弘信 様
佐賀県ホッケー協会会長 笠原 義久 様
- 講 師** 清水 美並 (リオオリンピック代表)
富田 恭平 (J-STAR プロジェクト副実施責任者)
大田 昭子 (元日本代表)
- その他** 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施する。
- 担 当** 佐賀県ホッケー協会事務局 川原 悠雅
電話 090-5282-3070 [メール saga2024hockey@gmail.com](mailto:saga2024hockey@gmail.com)

【教室内容】

○令和4年7月16日 午前中の部

8:45 開校式

9:00 W-UP アクティビティ

9:30 スキルトレーニング

- ① ドリブル(スピード)
- ② ストローク (2人で対戦)
- ③ ドリブル数種類 (3Dドリブルなど)

11:00 ゲーム (講師も一緒に参加)

11:45 質問タイム

12:00 閉校式

○令和4年7月16日 午後の部

13:30 開校式

13:05 W-UP アクティビティ

13:30 スキルトレーニング

- ① ドリブル (認知判断)
- ② パス&レシーブ (四角形)
- ③ レシーブ&シュート(流し止め)

15:00 ゲーム (講師も一緒に参加)

15:45 質問タイム

16:00 閉校式

○令和4年7月17日 午前中の部

9:00 開校式

9:05 W-UP アクティビティ

9:20 スキルトレーニング

- ④ ドリブル (認知判断)
- ⑤ パス&ムーブ 4人でのパス回し
- ⑥ 3Dドリブルシュート

11:00 ゲーム (講師も一緒に参加)

11:45 質問タイム

12:00 閉校式

【所感】

佐賀県ホッケー協会 川原 悠雅 様 コメント

親子ホッケー教室を行なってもらいました。クラブでは、これまでこのような機会がなく、親子でホッケーを楽しむというのは、初めての試みでした。お父さん、お母さんにスティックに触れてもらい、子どもと一緒にやってもらうことで、子どもたちは普段以上に、またお父さんお母さんもとても楽しそうにしていたのが印象的でした。

また、最新のアイテムを活用して、基礎スキルを楽しみながら向上させるというのも、とても勉強になりました。指導者も常に向上心を持ち進化していく必要があると感じています。

そしてトップ選手からの指導もワンポイントアドバイスが的確で、そのワンポイントでプレーの幅が大きく広がることを選手、指導者ともに学びました。特に、清水さんの3Dドリブルについては選手も指導者も興味津々になり勉強させてもらいました。

このような機会を与您いただきありがとうございました。
たくさんの学びがあったホッケー教室でした。

講師コメント

清水 美並 (リオオリンピック代表)

全体的にとっても楽しく、良い雰囲気です。ホッケー教室させてもらいました。子どもたちの反応も良くてやりやすかったですし、私自身も一緒に楽しむことができました。

また、中学生は本当に向上心がすごいな！と感じました。質問してくれる子も多かったので、何がわからないのかが明確になり、とても教えやすかったです。ありがとうございました。

大田 昭子 (元日本代表)

今回初めて夢見るホッケー教室の講師をさせて貰えて、とても楽しかったのと言葉にして教える事の難しさを改めて感じました。その中でも、子ども達みんな積極的に教えた技術を取り入れようと頑張ってくれたので、とても嬉しかったです。初めてホッケーを体験しに来てくれた子もいて、始めはボールを触るのも難しそうにしていたのですが、最後は一緒にミニゲームまで出来る様に上達してくれて私まで嬉しくなりました。

今後またこのような機会があれば、たくさんの人に私が培ってきたホッケーの技術と面白さを伝えていきたいです。

富田 恭平 (J-STAR プロジェクト副実施責任者)

小学生は保護者の参加者も多く、良い雰囲気です。ホッケー教室ができました。中学生は選手からの質問が多く、とても向上心があるなあという印象でしたし、指導者も同じく質問が多かったので、指導者間でも良い情報共有ができました。

【教室風景】





